

小電力型ワイヤレスシステム

受信機

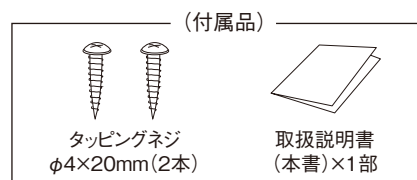
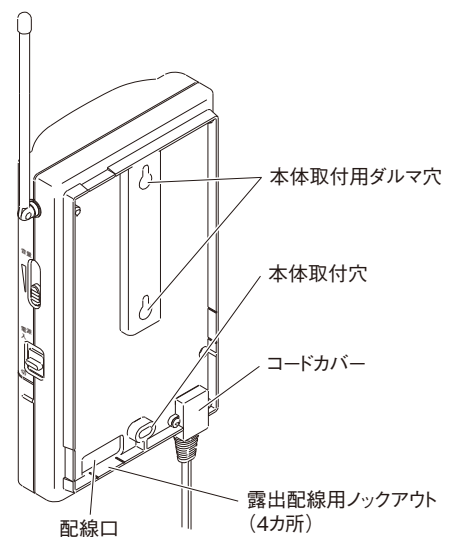
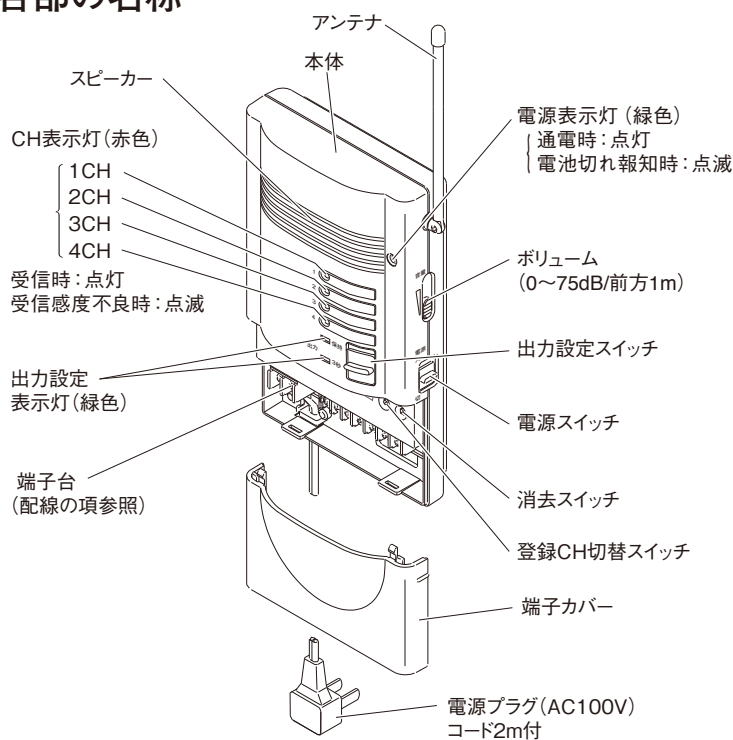
HC-300

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

1 商品説明

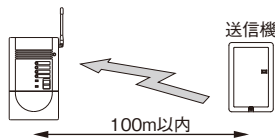
「受信機HC-300」は、弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの送信機シリーズと組み合わせてご使用ください。本機は受信した信号をチャイム音と外部出力接点動作により報知します。また、送信機を4チャンネルに振り分けて登録することにより、4種類のチャイム音で報知することができます。さらに、出力設定スイッチにより、動作モードを3秒モードと保持モードに切り替えることができます。

2 各部の名称

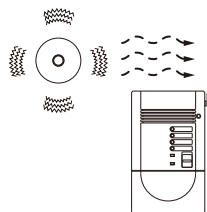


3 ご使用上の注意

●本機の受信可能距離は見通し距離で約100mです。設置場所の建物の構造や送信機との間の障害物など、周囲の環境により受信可能距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。



●警報ベル(当社製KB-6など)をご使用の場合は、本機と警報ベルとの距離は可能な限り(少なくとも3m以上)遠ざけてください。そのうえ設置完了後には、実際に警報ベルを鳴動させた状態で各送信機からの電波が正常に受信できることを必ず確認してください。



※警報ベル内部には一般的にDCモーターが使用されており、動作時には比較的強い電気ノイズが発生します。

●強い電界や磁気を発生する機器の近くでは正常に動作しないことがあります。



●実際に送信機・受信機の設置・配線工事を行うまえに電源線を仮配線し、送信機の登録および設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを確認してください。

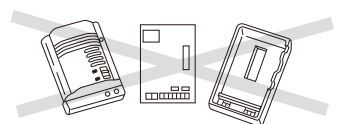
●本機はAC100VまたはDC10~16Vを使用します。誤配線または違う電源を使用しますと火災・感電の原因となる場合があります。

●本機は電源スイッチが“切”状態でも送信機からの電波を監視しています。電源入力をOFFにされた場合は監視機能がなくなりますので、電源入力でのON/OFF制御はしないでください。

●本機は屋内専用です。雨のかかる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。



●改造すると法律により罰せられます。また、故障の原因ともなりますので、分解や改造は絶対にしないでください。

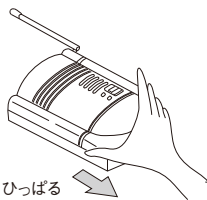


●本機は、日本国内の使用に限ります。

4 送信機の登録および消去

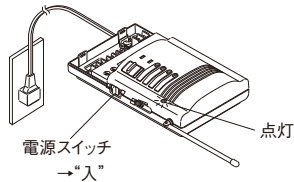
準備

1. 端子カバーの両側面を持ち、下方方向にスライドさせて端子カバーをはずしてください。



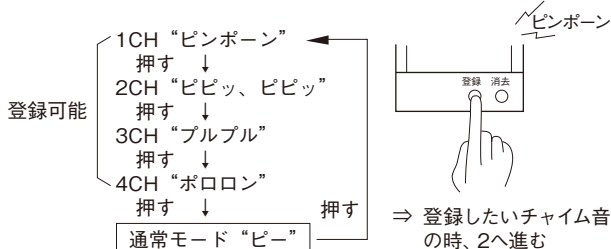
2. ACプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしてください。

- 電源表示灯が緑色に点灯します。



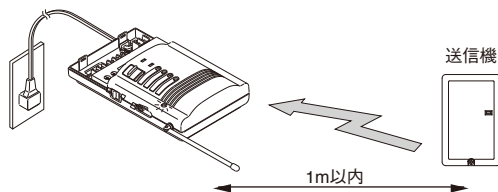
登録方法 (3秒モードで行ってください)

1. 本体下部の“登録”スイッチを押してください。
 - 1CHのCH表示灯が点滅し、1CHのチャイム音“ピンポン”が鳴ります。
 - また“登録”スイッチを押すごとに以下のように切り替わりますので、登録したいチャンネルを選択してください。



2. 登録しようとする送信機と本機の距離を1m以内として送信機の電源を投入(電池を接続)し、電波を送信してください。

- 送信方法は各送信機の説明書をご覧ください。
- 送信機からの電波を本機が受信すれば登録は完了です。またその時、登録したチャイム音が鳴り、外部出力が出力されます。(チャンネルを間違っただけの場合は、一旦消去してから再登録してください)



3. 登録がすべて終われば“登録”スイッチを押して“通常モード”にしてください。

- “ピー”と鳴り、CH表示灯が消灯します。

消去方法

1. “登録”スイッチを押して消去しようとするチャンネルのチャイム音を鳴らせてください。

- 該当チャンネルのCH表示灯が点滅します。
- “登録”の場合と同様にスイッチを押すごとにチャンネルが切り替わります。

2. “消去”スイッチを1秒以上押し続けてください。

- “ブー”と鳴り、そのチャンネルに登録されているすべての送信機が消去されます。(1つのチャンネルに複数の送信機を登録している場合、個別消去はできませんので消去しない送信機は再登録してください)

3. “登録”スイッチを押して“通常モード”にしてください。

- “ピー”と鳴り、CH表示灯が消灯します。

※ “登録” “消去” モード時、“登録”スイッチが2分以上操作されない場合は、自動的に“通常モード”に戻ります。

★登録・消去に関して

- 送信機は、最大30台まで登録可能です。
- 登録は1CH~4CHに振り分けてお使いいただけます。
- 1つのチャンネルにまとめて30台登録したり、2つのチャンネルに15台ずつ計30台登録することも可能です。(但しこの場合は、他の空チャンネルには登録できません)
- 1台の送信機を異なるチャンネルに同時に登録することはできません。(間違っただけでも“ブー”と鳴り登録できません)
- 1度登録されると電源を“切”にしても消去されません。

5 設置方法

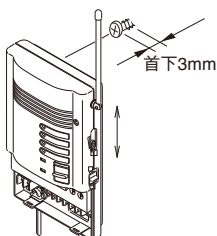
1. 端子カバーの両側面を持ち下方方向にスライドさせて、端子カバーをはずしてください。



2. 入線口から配線を入線してください。露出配線の場合は、ロックアウトを破ってください。(取付参考図参照)

3. 取り付けようとする位置に、付属のタッピングネジ1本を首下3mmまでねじ込み、本体のダルマ穴に引っ掛けてください。

- ダルマ穴は2ヶ所あります。通常は上側を使い、埋込用スイッチボックスを使用して取り付けを行う際に下側を使います。



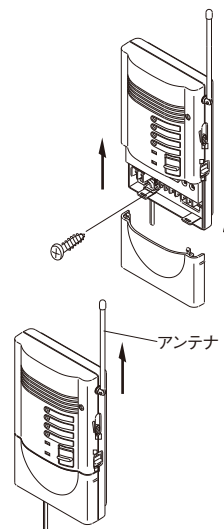
4. 本体下部のネジ穴にネジを取り付けて、しっかり締め付けてください。

5. [6配線方法]の項を参照して配線を行ってください。

6. 端子カバーを取り付けてください。

7. アンテナを上方向に向けてください。※アンテナが下を向いていると受信感度不良の原因となる場合があります。

8. [8動作確認]の項を参照して動作確認を行ってください。

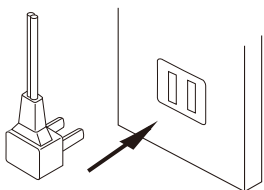


6 配線方法

—電源について— 下記のいずれかをご使用ください。併用は絶対にしないでください。



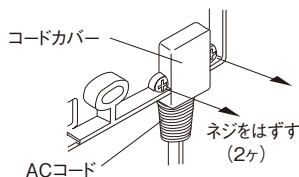
〔A〕AC100Vを使用



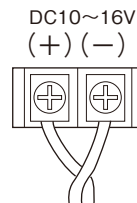
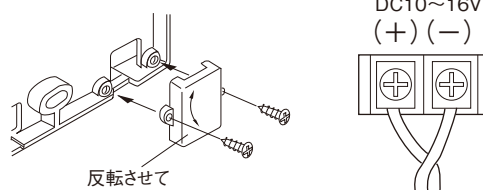
●ACプラグをコンセントに差し込みます。

〔B〕DC電源を使用

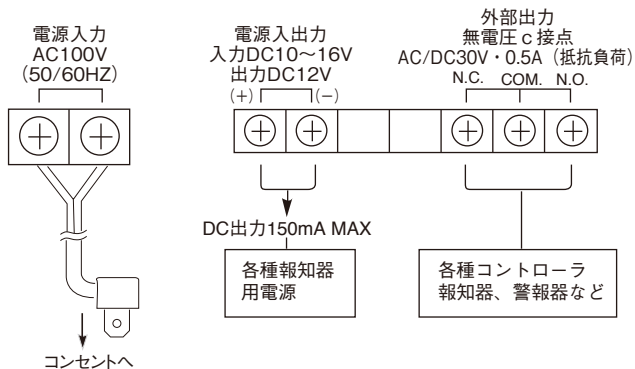
1. ACコードを端子台からはずします。
2. コードカバーを本体からはずし、ACコードを抜き取ります。
3. コードカバーを反転させて本体に取り付けます。
(ACコード用の穴がふさがれます)



4. DC入力端子台に配線を接続します。



端子配列図



(備考)

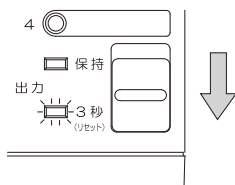
AC電源の埋込配線の場合は、“〔B〕DC電源を使用”と同様に行い配線はAC入力端子に接続してください。

- 本機には停電補償回路は内蔵されておりません。停電補償が必要な場合は、バッテリーバックアップ付の直流電源や無停電電源などを接続してください。
- 接続する報知器やコントローラの施工マニュアル、説明書もご参照のうえ、配線、接続を行ってください。

7 出力設定の選択

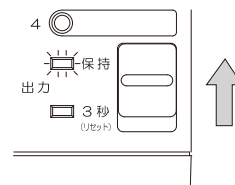
3秒モードの設定

出力設定スイッチを“3秒”に設定すると“3秒”側の出力設定表示灯が点灯します。受信に対して、3秒のオフディレイ動作を行います。受信しなくなったら3秒後には、チャイム音、外部出力、CH表示灯が復旧します。また、保持モード設定時の保持された出力などは“3秒”に設定することにより、リセットされます。



保持モードの設定

出力設定スイッチを“保持”に設定すると“保持”側の出力設定表示灯が点灯します。一度受信すれば、チャイム音、外部出力、CH表示灯の点灯が継続します。



リセット方法は、次の2通りです。

- a) 出力設定スイッチを一度“3秒”(リセット)へ切り替える。
- b) 電源スイッチを一度“切”にする。

(注) チャイム音は、複数のチャンネルを受信すると、3秒ごとに順次切り替えて鳴動します。

8 動作確認

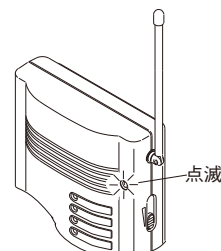
1. 電源を接続し、電源スイッチを“入”にして電源表示灯が点灯していることを確認してください。
2. 出力設定スイッチを“3秒”に設定してください。
3. 送信機より警報信号を送信させてください。
*送信方法は各送信機の説明書をお読みください。
4. このとき本受信機側で該当する送信機が登録されているチャンネルのCH表示灯が点灯し、対応するチャイム音が鳴り、外部出力が動作することを確認してください。
5. 受信状態が悪い場合は、警報信号受信時にCH表示灯が約4秒間点滅してお知らせします。この場合、送信機の位置を移動させて再度確認してください。

9 送信機の電池切れ報知について

各送信機の電池が消耗し電圧が低下した場合、定期送信や警報信号などに情報を付加して送信し、受信機に伝えます。電池切れ信号が発生した場合は、すみやかに送信機の電池を新しいものと交換してください。放置されますと送信機がまったく動作しなくなったり異常動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

電池切れ報知として、受信機側では電源表示灯が点滅(復旧するまで)および警報信号受信時、チャイム音が断続的に鳴動します。

- *送信機の電池はシステムの保守点検などに合わせて定期的に交換してください。
- *電池切れ信号を受信しても、受信機の外部出力は動作しませんのでご注意ください。



10 点検方法 (正常な動作をしない場合)

以下の表にしたがって点検してください。点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社まで申し出ください。

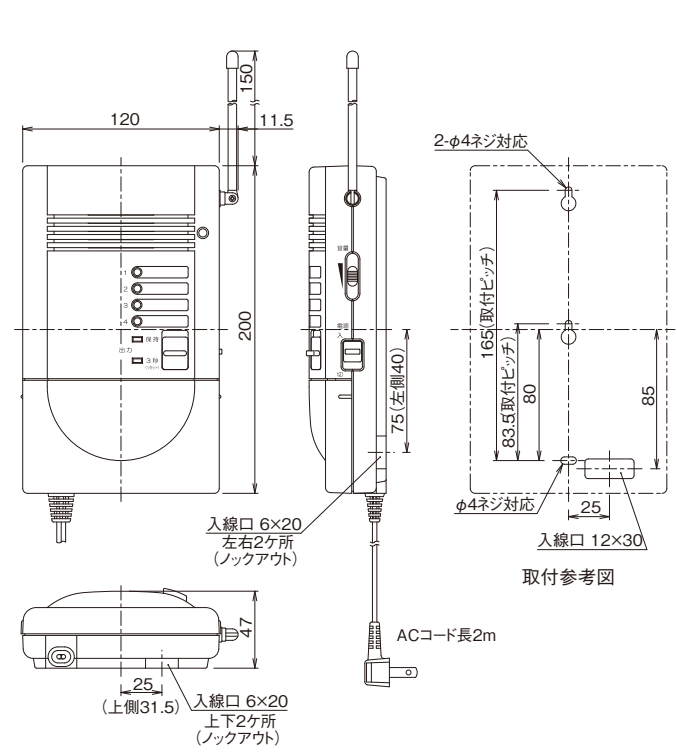
異常現象	原因	処置
全く動作しない (動作表示灯が消灯)	電源が入っていない (断線も含む)	電源線が正しく接続されているか確認
	電源スイッチが“切”状態になっている	電源スイッチを“入”状態にする
全く受信しない	送信機が受信機に登録されていない	登録する
	送信機との間の距離が遠すぎる (100mを超えている)	送信機または受信機の設置距離を近づけるか、中継機を使用する
受信しないことがある	強い電界や磁界および電気ノイズを発生する機器が近くにある	該当機器から遠ざけるなど設置環境の再検討
	送信機との間の距離や周囲の環境が悪い	該当送信機の位置を移動させてみるか、中継機を使用する

- 日常点検**
- お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふいた後、洗剤が残らないようにふき取ってください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。(プラスチック部品が変形、変色、変質するおそれがあります)
 - 週1回程度は定期的に動作確認をおこなってください。

11 仕様

品名	受信機	
品番	HC-300	
電源	AC100V (50/60Hz) 12Wまたは DC10~16V 350mA	
使用周波数帯	426MHz帯 (小電力セキュリティシステムの無線設備)	
空中線	λ/4 ホイップアンテナ	
受信可能距離	約100m (見通し距離)	
外部出力	接点方式: 総合無電圧接点 (c接点) 接点動作: 3秒モード時: 受信時間+約3秒のオフディレイ動作 保持モード時: 連続動作 接点定格: AC/DC30V・0.5A (抵抗負荷)	
	電源出力	DC12V・150mA
表示灯	電源表示灯 (緑色)	通電時: 点灯 電池切れ報知時: 点滅
	CH表示灯 (赤色)	警報信号受信時: 受信したCHの表示灯が点灯 タンバー信号受信時: 受信したCHの表示灯が点灯 受信感度不良時: 受信したCHの表示灯が点滅 (約4秒間)
	出力設定表示灯 (緑色)	登録モード時: 登録受付CHの表示灯が点滅 保持モード時: “保持”表示灯が点灯 3秒モード時: “3秒”表示灯が点灯
操作スイッチ	電源スイッチ	内部
	出力設定スイッチ	
消去スイッチ		
報知音	チャイム音	1CH: “ピンポン” 2CH: “ビビッ、ビビッ” 3CH: “ブルブル” 4CH: “ポロロン” 鳴動時間: 3秒モード時: 約6秒 保持モード時: 連続鳴動 音量: 0~75dB / 前方1m 音量ボリュームにて可変
	電池切れ報知音: チャイム音が連続鳴動	
送信機登録可能台数	30台	
配線接続	端子式 (AC電源入力はプラグ式、端子式併用)	
使用可能周囲温度	-10℃~+40℃	
設置場所	屋内 (壁面取り付け)	
質量	約700g	
外觀	樹脂 (ホワイト)	

12 外形寸法図 (単位: mm)



安全に関するご注意

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。
- この機器の出力接点容量を接続機器の容量を超えないようにしてください。火災の原因となる場合があります。
- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

分解除止

13 免責事項について

- 本商品は、快適な生活をお手伝いするヘルスケア用機器で医療用機器、災害防止用機器、人身事故防止機器ではありません。ご使用上で、万一発生した人身事故、災害事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本商品の取り付け、取りはずし時の事故が発生した怪我、損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 地震・雷 (誘導雷サージを含む) および火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信上の損失・機会消失など) に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作 (誤報・失報を含む) などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品に関していかなる場合も、弊社の費用負担は本商品の価格内とします。

TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

ヘルスケア事業部

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL (075) 594-7211 (代) FAX (075) 501-2085
 札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島
 高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.
<http://www.takex-eng.co.jp/>

*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。